

第27期第1回常任理事会議事録

日時：1992年9月10日 13時30分～18時00分

場所：気象庁学会事務室

出席者：浅井，岩崎，大西，小倉，木田，関口，竹内，
中井，中村，新田，藤谷，村上，以上12名

議事

A. 報告事項

1. 第26・27期合同理事会及び第27期第1回理事会議事録の確認，一部修正のうえ承認。

2. 各委員会からの報告及び審議

庶務……………後援等名義使用を許可したもの1件。

日本学術会議第2常置委員会の女性研究者の実態調査に協力。

学会会費値上げに伴う定款一部改正を文部大臣が認可。

第27期の支部役員について，九州支部から高橋劭支部長等，中部支部から里見穂支部長等，関西支部から山下晃支部長等の報告。

平成4年度科学研究補助金について文部省が408万円の交付決定。

学術審議会から文部大臣への答申「21世紀を展望した学術研究の総合的推進方策について」の写しの送付。

会計……………1992年8月収支計算報告。

天気……………8月号の内容及び9，10月号予定の報告。

集誌……………70巻5号の内容の報告。

論文投稿数の見直しについて若干の議論。

講演企画……………夏期特別セミナーに69名の参加。

秋季大会と関連研究会の開催予定報告。

次回春季大会及び秋季大会の準備状況。

講演数の増加に対し会場，会期をどう見直すかについて議論。

研究連絡会担当を講演企画担当理事が兼務することを承認。

94年春季大会担当の気象大学校理事より大学校単独開催の困難性について報告，理事会として今後検討。

総合計画……………学会運営体制に関連し，事務局体制の強化が軌道に乗ったのを受け，「出版局」体制作りの検討を開始すべきとの提案を了承。

気象審議会18号答申（気象解説者の資格認

定制度等）について学会の立場で検討する委員会を設ける件について議論。

春季大会の運営等について関東地区の大会担当部局で情報交換の場としての「関東地区連絡会」が発足。

教育普及……………夏季大学に87名の参加。テキストが好評。

国際学術交流……………後期の申請を締め切ったが，申し込み1件。申請の時期的偏りに対処するため，単年度予算方式の見直しを含め弾力的運用を検討の要。

IAMAP……………8月14日に合同会議組織委員会を開催，学術会議も共催となる。

各賞・奨励金……………日産学術振興会からの対象者推薦依頼の件については，該当者なしで回答。

「奨励金」の名称を性格や金額を考慮して「奨励賞」にすることを検討中の報告。

3. 会員の新規加入等について

個人14，団体1の入会を承認，個人3，団体1の退会を承認。

4. 第27期各委員会の構成について

各委員会の担当理事及び委員を承認，一部委員会については調整中。

5. 第27期評議員の選任について

前期で行った見直しを今期も引き継ぎ，色々な方面からの提言を聞く方針で人選を行うことを確認。出身分野は前回のものを参考にし，庶務担当理事を中心に人選し，次回理事会に諮る。

6. 堀内基金奨励賞候補者投票結果について

及川武久会員，山田道夫会員に対する理事投票の結果，両名とも承認。

7. 1993年度事業計画・予算案について

概略について審議。今後も理事会で検討を継続。

8. 賞金受賞者の旅費規定について

理事の旅費規定に準じて，賞金受賞者にも学会から旅費を補助する件について，一部修正のうえ承認。

9. 理事体制の見直しについて

第26期理事会での検討を下敷きに，理事の選出方法について議論。現行制度の問題点，文部省の指導，前期理事会の検討を踏まえて今年中に一定の結論を出すように引き続き検討することにする。